

令和4年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 准教授

氏名： 宮脇 健

<p>研究課題名</p>	<p>平時におけるリスク認知と効果に関する実証研究</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>日常時の人々のリスク認知と効果（例えば、日常時リスクに関する知識が増えたり、回避するための対策を講じるなどの行動に出るのか）の関係について明らかにすることを目的としている。現代社会において、科学的な問題に対する知識の欠如は科学への理解や一般の人々の専門性の低さがリスクに対する認知を見誤る原因の一つとして考えられてきた。これはいわゆる欠如モデルというもので、必ずしも知識の高低がリスク認知やその後の行動に影響を及ぼすわけではないことが明らかになっている。その上で、専門家も一般市民も議論することで、リスクに対してお互いに受容するモデルを推奨することが多くなっている。しかし、それでも結果として様々なリスクの現場で専門性や知識を享受する方法は実践され、効果を挙げていることも事実である。そのため、リスク認知に関して、その効果を再検証する。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>研究の進捗について 2019年に実施したプレ調査としての実験の研究結果に基づき、防災に関する体験型の授業の効果がより広範にあるのかを確かめるために、世田谷区の小学校3校に協力を得て、同じ授業（PPTに基づく講義とHUGによる体験型授業）と調査方法（事前事後の児童、保護者へのアンケート調査）を年度内に実施することが出来た。次年度以降にこのアンケート結果の定量、定性的な分析を行う予定である。</p>